

## 1. 基本的な考え方

### (1) 計画の位置づけ

宝塚市夢・未来 たからづか創生総合戦略（以下、「総合戦略」という）は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」及び兵庫県の「兵庫県地域創生戦略」を勘案するとともに、宝塚市人口ビジョンを踏まえ、本市の地方創生に向けた基本目標、取り組むべき施策を取りまとめたものです。

また、宝塚市では、平成32年度（2020年度）を目標年次とする「第5次宝塚市総合計画」において、「市民の力が輝く 共生のまち 宝塚～住み続けたい、関わり続けたい、訪れてみたいまちをめざして～」を将来像として掲げ、まちづくりに取り組んでいます。この総合戦略では、第5次総合計画の基本構想の実現に向けた施策を基に、今後5年間の基本目標の達成に向けた主要事業を示しています。

### (2) 計画期間

総合戦略の計画期間は、平成27年度（2015年度）から平成31年度（2019年度）までとします。

### (3) 進行管理

総合戦略に掲げる取組を客観的に検証するため、基本目標に数値目標を設定するとともに、具体的な施策については、重要業績評価指標（KPI※）を設定し、施策の実施状況の検証、改善を図り、次の取組につなげるPDCAサイクルにより、進行管理を行います。

また、総合戦略の推進にあたっては、市長を本部長とする「宝塚市夢・未来 たからづか創生本部」や外部有識者などで構成する組織により、取組状況の検証を行い、必要に応じて、総合戦略を見直します。

※KPI：Key Performance Indicator の略。

### (4) 取組における視点

総合戦略に掲げる取組の実施にあたっては、次の3つの視点を持って取組を展開します。

#### ★様々な分野における協働の推進

「協働」がまちづくりの基本であるとの認識のもと、様々な分野において、市民※と行政の協働により事業を推進します。

#### ★市民との対話や交流の推進

市民との情報共有を図り、市政に関する市民の理解を深めることによって、参画

と協働が進むよう、市民と行政の対話や交流を推進します。

**★まちの魅力の発信**

多くの人に本市の魅力を知ってもらい、まちへの関心を持ってもらうよう、まちの魅力を高めるとともに、魅力の発信を推進します。

※市民とは、個人としての市民、自治会、まちづくり協議会、地域団体、市民活動団体、中間支援団体、事業者を表します。

## 2. 目指すべき将来の方向

---

本市は、宝塚歌劇、神社仏閣、宝塚らしい景観、良好な住環境、北部の豊かな自然など、多彩な魅力に溢れたまちであり、これらの魅力が本市の都市イメージや価値を高めていることから、これらの魅力を未来の「宝塚」へと繋げていくことが重要です。

このため、これらの魅力を最大限に生かすとともに、各施策においてさらに魅力を高め、市内外に向けて情報発信をすることにより、「住んでみたい」、「訪れてみたい」、「住み続けたい」と思う人を増やし、「選ばれるまち」、「活力あるまち」をめざします。

この実現に向け、次の3つの基本的な考え方を掲げます。

### まちの魅力にひかれて ～住みたくなる～

---

六甲・長尾山系や武庫川の美しい景観や良好な住環境、北部の豊かな自然、大阪近郊都市としての利便性などの魅力により、本市での居住に関心を持つ人、特に結婚、出産、子育て世代の人に、本市を居住地として選んでもらえるよう、情報を発信することが重要です。

また、まちの人口を維持するためには、次代を担う子どもの数が増えることが理想です。そのためには、子どもを安心して産み、育てることができる子育てや子どもの成長を地域とともに支える仕組みなどが重要です。

こうした考え方のもと、本市の住環境などの魅力を生かすとともに、子育て支援や教育環境の充実により、まちの魅力をさらに高め、「住みたくなるまち」をめざします。

### まちの魅力を知って ～訪れたくなる～

---

本市には、宝塚歌劇や神社仏閣などの観光資源があり、毎年多くの観光客が訪れています。まちの賑わいや活気を創造し、まちの活力を高めるとともに、まちの魅力も高めることから、多くの観光客が訪れることが重要です。

こうした考え方のもと、本市に関心を持つ人がまちをもっと知りたくなり、訪れたいくなるよう、地域資源を掘り起し、多様なメディアを活用して情報を発信することで、まちの魅力を知って「訪れたいくなる」まちをめざします。

### まちへの愛着を持って ～住み続けたくなる～

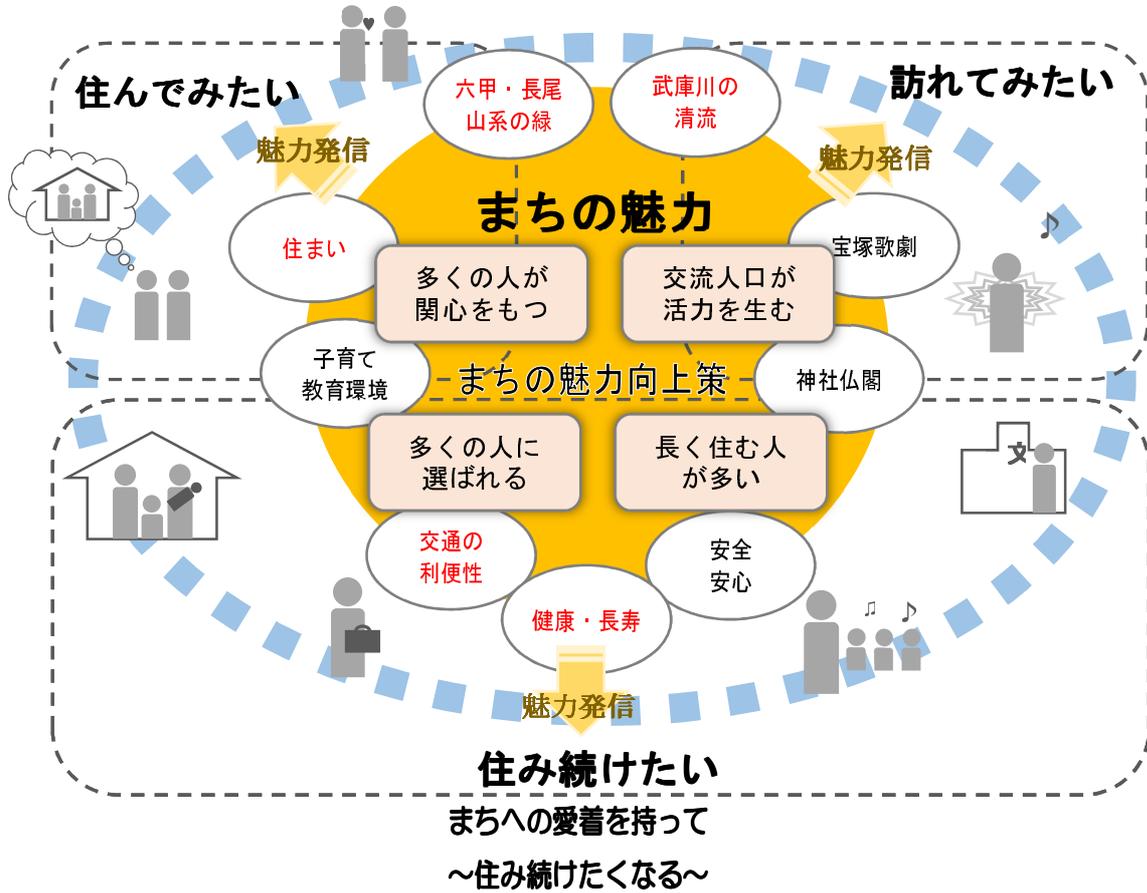
---

平成27年8月に実施した市民に対する居住意向調査の結果、多くの市民が「宝塚市に住み続けたい」と回答しています。その主な理由としては、「住環境がよいから」、「交通の利便性がよいから」、「治安がよいから」が挙げられます。これらのまちの魅力をさらに高め、住み続けたいと思う人を増やすことが重要です。

こうした考え方のもと、すべての人が、健康で安心して暮らし、まちへの愛着を持って「住み続けたいくなる」まちをめざします。

まちの魅力にひかれて～住みたくなる～

まちの魅力を知って～訪れたいくなる～



### 3. 基本目標

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」、「兵庫県地域創生戦略」及び「宝塚市人口ビジョン」を踏まえ、まちの将来方向を実現するため、今後 5 年間でめざすべき 3 つの基本目標を次のとおり掲げます。

#### 基本目標 1 子どもと子育てにやさしい「まち」

- \*子どもが地域のなかで愛されて健やかに成長していることが、まちの魅力となるとともに、大人になっても住み続けたい、将来戻ってきたいと思われるまちになると言えます。
- \*このため、子どもを安心して産み、育てることができるよう、地域と行政が一体となり、子育て支援の充実、子育てと仕事の両立できる環境の整備、子どもの「生きる力」を育む魅力ある教育環境づくりを進めることで、子どもと子育てにやさしいまちをめざします。

指標	数値目標・目標年度 (H31)
年少人口の数	32,363 人 (H27 年 6 月) ⇒ 32,363 人 (H31 年度) H26 度実績を維持
市民アンケートで「宝塚市は子育てがしやすい環境である」と思う市民の割合	48.5% (H26 年度) ⇒ (H31 年度) H26 度実績から上昇

#### 基本目標 2 地域資源を生かした活力ある「まち」

- \*宝塚歌劇や神社仏閣などの文化・歴史資源は、外部から人を呼び込み、宝塚市を特徴づけるとともに、まちの誇りとなっています。
- \*本市の豊かな資源を生かし、まちの個性と魅力を高めるとともに、産業の活性化による雇用機会の創出や就労支援に取り組み、活力あるまちをめざします。
- \*市民が心豊かな生活を送るために、文化芸術やスポーツは欠かせないものと言えます。生涯を通じてだれもが文化芸術やスポーツとふれあい、楽しむことのできるまちをめざします。

指標	数値目標・目標年度 (H31)
観光入込客数	8,572,816 人 (H26 年度) ⇒ 9,172,913 人 (H31 年度) H26 度実績の 7% 増
市内民営事業者の従業員数 (経済センサス)	51,077 人 (H24 年) ⇒ 52,000 人 (H31 年) 現状維持

#### 基本目標 3 健康で安心して暮らせる、住みやすい「まち」

\*子どもや高齢者をはじめすべての市民が、地域のなかで健康で安心して暮らすことができるとともに、道路、交通などの環境が整備された快適なまちは、住んでいる人の定住や住みたいと思う人の転入に繋がると言えます。

\*このため、ハード、ソフト両面において環境を整備し、すべての人が、健康で安心して暮らせる住みやすいまちをめざします。

\*また、北部地域は、里山と農地が保全されている自然豊かな地域ですが、人口減少と高齢化の進行により生活環境への影響が懸念されることから、交流促進と定住促進により元気なまちをめざします。

指標	数値目標・目標年度 (H31)
市民アンケートの「宝塚市内に住み続けたい」市民の割合	79.8% (H26年度) ⇒ (H31年度) H26度実績から上昇
社会増減における転入超過数	-305人 (H26年度) ⇒ (H31年度) プラスを維持

※「事情が許せば住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計